

日 時：平成 26 年 11 月 17 日（月）18 時 30 分 ～20 時

場 所：平成町コミュニティセンター

対象町会：平成

参加人数：26 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○五郷川の管理について (市民からの要望・質問)</p> <p>五郷川の管理はどこか。昨年 9 月の水害時、市から「アップルランド裏の川が氾濫しそうだ」と放送があったので見回ったところ、家屋等には被害はなかったが、五郷川の水位が護岸まであと 20～30cm 程度のところまであがっていた。</p> <p>五郷川は小和森の神社の方へ流れているが、以前は竹林、アカシア、クリの木があった。一昨年、クリの木以外の木は伐採してもらえた。その後、付近の 5 区画が分譲されたためクリの木も切ったようだ。草刈りも 2 年に 1 回行われている。</p> <p>對馬さんの裏のクルミの木が倒れてくると相談を受けた際、ちょうど尾上分庁舎の農林課で会議があったのでその話をしたら、「土木課へ伝える」と言われた。その後、土木課ではなく管財課から連絡がきた。官地になっていると思うが、どこで管理しているのか。</p> <p>(市民からの意見)</p> <p>普通河川なので土木課が管理している。アカシア伐採の要請があれば、話を伺って切っているはず。ただ、分譲の時は別な所でやったのかもしれない。</p> <p>(市の回答)</p> <p>・五郷川はアップルランドの方からくるのか。いとくや佐藤長の裏を流れているか。</p> <p>(市民からの意見)</p> <p>あれは用水で、小和森方面へ流れている。その下を通っているのが五郷川である。町居の方からアップルランドの排水を拾って流れている。佐藤長の裏の用水がアップルランドの所にある水門に落ちるので、水位が上がるようになっている。</p> <p>(市の回答)</p> <p>・今年 8 月の雨で佐藤長の裏の辺りで水があふれ、健康センターの裏まで流れた。健康センターの裏は床上ぎりぎりのところまでできていた。かさ上げしても超えてあふれるので排水対策に頭を悩ませている。</p>
<p>○分譲地の除排雪について (市民からの要望・意見)</p>

去年から町会内で分譲された所が2か所ある。1つはふくしまクリニック付近で13区画がほぼ完売である。もう1つが平成町コミュニティセンター付近の7区画で、併せて20区画である。そのうち12軒が建っているが、除排雪するには狭く苦勞しそうである。

造成地に車止めを設置しているが、冬になると雪置場になり歩けなくなる。土木課で「ここは冬に雪置場となり通行止めである」というチラシをまいた。また、近所の人から冬は通行禁止の看板を立ててほしいといわれている。雪の量にもよるが大変だと思うので、上手な除排雪をお願いしたい。

(市の回答)

- ・市内の開発は市が直接関与するのではなく、民間業者によるものである。市街化調整区域の中で用途変更し、少ない軒数で住宅を建てている。
- ・新しい家が増えたのは喜ばしいが、冬のことを考えず区画を多くしているのではないかと懸念している。かなり前に分譲された他町会のところでも、排雪場所がないので排雪してほしい等の要望がある。分譲段階から除排雪のことも考えて区画計画をしていただくよう、さらに指導したい。

○住宅地の電柱移設について

(市民からの意見)

直接市役所と関係ないが、分譲地で家の真ん中に電柱が立ったところがある。この前防犯灯をつけたら、2階の窓の所に電気が設置された。東北電力でも電柱を移設するという話だったが、いつ行われるのかわからない。一応、お知らせする。

(市の回答)

- ・電柱が立っているのが私有地であれば、東北電力に連絡すれば、すぐ移設してもらえるのではないかと。

(市民からの意見)

その場所であれば、先週移したようである。

○文化センター西側道路への横断歩道設置

(市民からの要望・質問)

先日、市役所で確認したが、文化センターの正面出口（西側）に道路向かいの駐車場への横断歩道を設置できないか。大人はほとんど横断歩道を渡らないが、子どもたちは横断歩道を歩くよう学校から指導されているので、遠回りになる。

先月の学校音楽発表会では、送迎用のスクールバス等が出口に4台停車していたが、歩道にかかっていたので道交法違反である。

もし、横断歩道が設置されていれば、バスはそこで停車することはなかったのではないかと推測する。

現在の横断歩道の場所とこれから設置してもらいたい場所との間隔が狭いと思い、黒石警察署へ電話確認したが、問題はないとのことだった。

交通指導隊が「道路にとび出し注意と書いてほしい」と市役所へ行き、書いてもらえたが、あくまでも運転者へ向けた注意喚起であって、文化センターへ出入りする歩行者に向けたものではない。ぜひ横断歩道を設置してほしい。

(市の回答)

- ・先日ご相談があった際に黒石警察署に確認したところ、横断歩道の設置は公安委員会で予算要求し、県の予算で設置されているが、各市町村からの要望が多く、なかなか市町村の要求どおりになっていないのが現状であるとのことだった。
- ・仮に市で白線を引く経費等を用意するなら、若干優先順位が早まるのではないかということだったので、市としても警察へ要望・検討する。

○小和森小付近の側溝について

(市民からの要望・質問)

小和森小学校の正門向かい側の側溝に蓋をし、歩道にしてほしい。小学校側には歩道がある。平成町会を含め、線路の東側の子どもたちの通学路となっている。側溝は段差1m、幅2mあり、一人で帰る子どもも多く危険である。側溝は利用されていないと思うので、危険回避するため蓋をし、歩道かガードレールを設置してほしい。

(市の回答)

- ・現場を確認し、どこの管理か、現在使われているのか等確認したうえで子どもたちの安全に対処したい。

○市の短命県返上への取り組みについて

(市民からの要望・質問)

現在、黒石高校に通っている。短命県について中南地域のPTA会議の場で2回、昨年9月には、県主催のステップアップ県民大会で県内の高校を代表して発表した。

青森県は短命県で、全国ワースト1である。県全体として見ると、昭和40年の統計開始から男性は45年以上、女性も平成12年以降10年以上連続ワースト1である。

去年8月1日の東奥日報の朝刊に市町村別のデータが載ったが、平川市の平均寿命は男性が2010年度の調査で76.7歳、女性は85.4歳であり、その差が約10歳だった。さらに、男性の平均寿命は下位10市町村中7位だった。

弘前市は「健幸ひろさきマイレージ制度」を実施し、健康づくりをポイント制にしてポイントに応じて景品を貰えるようにしている。平川市でもそのような制度を行えば、市民健康づくりが推進され、男性の下位10市町村から脱却できるのではないか。

(市の回答)

- ・おっしゃられたことには大賛成である。健康で元気な平川市を作ることが政策の大きな柱の1つである。
- ・平成22年の段階では、平川市の男性の平均寿命は県内でも下から7番目であり、男性は76.7歳、女性が85.4歳だった。最近はもう少し上がってきたが、いずれにしても青森県は全国的に平均寿命が短いので、解消のため県では様々な取り組みを行っている。
- ・それに呼応し、平川市でも平均寿命だけでなく健康寿命（健康上の問題がない状態で日常生活がおくれる期間）を延ばすための運動をこれからも推し進めたい。
- ・まずは食生活を変えることが第一である。食生活を含めた生活習慣を変えなければ、健康で長生きすることは難しい。来年度から管理栄養士を採用し、健康づくりに力を入れたい。①食生活 ②運動 ③心を健康に保つことが平均寿命を高める要因だと思う。
- ・かつて青森県の平均寿命が低かったのは、周産期（出産前後の時期）の死亡率が全国的にも高かったこともあるが、今は改善された。もう1つの要因は、自殺者が多いことである。健康的な理由、経済的な理由があるが、そのようなことも変えていかなければ平均寿命が上がらない。
- ・市で力をいれているのが、生活習慣病重症化予防対策事業である。板柳町・藤崎町・田舎館村と一緒に取り組んでいる。青森県と気候が似ているにもかかわらず、平均寿命が長い新潟県で活躍し、生活習慣の変化をもたらした熊谷勝子先生を講師に呼び、保健師が研修している。すぐに効果は出ないので5年間お願いしている。各市町村にテーマを持たせて研修している。市はこの事業により、介護が必要になる方の年齢を5歳押し上げることを目標としている。
- ・そのほか、今年から地域の健康づくり活動支援事業を始めた。各町会で行われる栄養教室等健康づくりのための事業に10万円まで補助し、今年度は予定の5町会分すべて埋まった。また、平賀ライオンズクラブから2町会×5年間分の援助があったので、来年度からは7町会分を支援したいと思っている。
- ・平成18年に平川市の男性の自殺者数は、ワースト1となった。そのため、うつのスクリーニング等自殺予防対策に力を入れている。問診票を書いてもらい、保健師が点数をつけ、危険な方には声がけ・アドバイスをしている。重症な方には、県立保健大学の先生の提案を受け、一緒にフォローしている。
- ・また、悩みを持つ方の話をゆっくりと聞いてあげることで、精神的に楽にしてあげる傾聴ボランティアを養成した。現在、実際に傾聴サロン事業を行っている。
- ・平川市の自殺者数は、平成18年：17人、平成19年：16人、平成20年：15人、平成21年：9人、平成22年：11人、平成23年：20人、平成24年：7人、平成25年：13人である。全体的に下がってきているが、波がある。講師の先生によれば、自殺予防対策の効果が出る前に数字が跳ね上がるケースがあるということだった。

○青少年議会の開催について

（市民からの要望・質問）

全国の地方自治体で青少年議会が行われており、昨年は187件もの模擬議会が開かれた。

県内では、弘前市や十和田市で小中学生を対象にした子ども議会が行われた。また、県外では高校生を対象とした議会が行われた。自分だけでなく他の学生も青少年議会を通して市政に参加したいと思っている。市政に参加することで平川市をより深く知り、誇りを持つてと思う。

(市の回答)

- ・青少年や小学生の議会はぜひ実現させたい。行政、政治に関心を持ち、参加する意識を小さいころからもつことで、物の見方や考え方も変わると思う。

○ごみの集積所へ監視カメラの設置

(市民からの要望・質問)

町会でリサイクルごみ収集の係をしているが、時間前に勝手にごみを置いていく人がいるので、ごみの集積所へ監視カメラを設置してほしい。

(市の回答)

- ・市の監視カメラで使えるものは1台しかなく、山の不法投棄される場所に優先的に設置している。
- ・カメラ設置箇所という看板を立てるだけでも効果がある。看板は市役所にあるので活用してほしい。

○市役所の新庁舎について

(市民からの要望・質問)

市役所の新庁舎はどこになるのか。明確にお答えいただきたい。

(市の回答)

- ・①耐震の問題 ②高齢化社会へ対応するには現在の階段は大変であること ③行政サービスをワンストップで行うためには、広さが必要であることの3つの観点から、合併特例債が使えるうちに市役所を建て替えたいと決断した。
- ・場所に関しては、支所や分庁舎のあり方検討委員会を開催しており、検討中である。新庁舎ができれば、どの部署がどれ位入るかによって面積等が違ってくる。それに合わせて新庁舎の建設に取り組んでいきたい。
- ・旧平賀病院は取り壊さなければならない。仮にそこに市役所を建てるとなれば、取り壊し費用に合併特例債が充当できる。壊すだけでも1億2,000万～3,000万円程度の経費がかかるようだ。
- ・新庁舎建設の候補地として、旧平川診療所一帯や旧柏木農業高校の体育館跡地等があるが、検討中なのでご理解願いたい。

○中央公園にごみ箱を設置してほしい

(市民からの要望・質問)

勝手にごみを置いていく人がいるからだと思うが、中央公園からなぜゴミ箱を撤去したのか。

(市の回答)

- ・最近、ゴミ箱があればごみを捨てられるということで、設置していない所が多くなった。ごみは持ち帰ることでご理解願いたい。

○救急車について

(市民からの要望・質問)

自宅が行き止まりの所にある。以前救急車を呼んだ際、家の前の道路幅が4mあるにもかかわらず平賀保育園の所で救急車が待機した。3年ほど前に近所の方が救急車を呼んだ際も、冬ではなかったのに救急車が広い道路の所で待っていた。

救急車を呼んだ方にすれば、救急車が広い所で待機し、隊員1名が来て容体を確認後、さらに隊員2名で運んでいくということが、救急車の意味をなしていないと感ずるのではないか。

運送会社のトラックやダンプ等も通れる道路幅であるのに、救急車が通れないのであれば、いざという時あてにできない。

(市の回答)

- ・今の市道認定は道路幅6mで、それに満たない所には家が建てられない。それ以前の所がどうしても狭いので救急車が入っていけないのではないか。
- ・消防署と連絡を取り、調べてから連絡する。

○五郷川への架橋について

(市民からの要望・質問)

五郷川を挟んでマックスバリュ平賀店の敷地があるが、いざ災害が発生すると、マックスバリュの敷地を利用しなければ相当の命が失われると思う。迅速な対応が必要なので橋をかけてほしい。現在1本しかないなので、2本位架橋してほしい。状況を確認していただければ必要性を感じると思うので、1本でも早めに計画してほしい。

(市の回答)

- ・災害時の避難場所としてマックスバリュ敷地へ橋をかけてほしいとのことだが、まちづくり懇談会で各町会からさまざまな要望をいただいているので、確認し優先順位を考えたい。
- ・子どもやお年寄りにとって、危険性が高いところであればすぐに改善するようにしているが、将来に向けての対策等であれば順番をつけながら対応していきたい。

○中央公園の樹木について

(市民からの要望・質問)

中央公園の樹木から種が車庫2階まで飛んでくる。春になると芽が出ており、草取りが大変である。また、モミの木のような樹木の葉も飛んでくるが、細かい葉なので濡れていると掃いても取れない。どうにかならないか。

(市の回答)

- ・中央公園の樹木を間伐するため、テープで印をつけている。来年からバイオマス発電が始まることもあって、まだ切っていないのだと思う。
- ・どの木を切るのかは定かではないので、調べて管財課より連絡させる。

○小中学校の部活動について

(市民からの要望・質問)

今、中学校では柔道・剣道・ダンスが授業に取り入れられている。平川市では柔道部のある中学校がないので、弘前市の中学校に通っている子もいる。市内中学校で1校でも柔道部があれば、小学校から続けている子が通えるのではないか。ぜひ検討してほしい。

(市の回答)

- ・学校の部活動は、基本的に校長が決定する。学校経営の一環なので、教育委員会は校長の決定を尊重する。
- ・武道が体育の授業で必修となった。授業で柔道を安全に行うため、体育の先生には県や柔道協会の講習会に行ってもらい、リスク回避のため研修を受けてもらった。体育の授業でさえ、柔道の指導者が不足しているので、部活動となれば顧問がなかなか見つからない。そのため校長としては二の足を踏むのだろう。
- ・どこか1校でも柔道部を設置してほしいという意見は校長会で提案するが、最近、部活動を減らしている状況なので難しいだろう。
- ・柔道をやりたいがために市外の学校へ行くことは、区域外就学となる。平川市内では認めているが、弘前市では認めていない。例えば、平賀西中学区だが、やりたい部活動が尾上中学校にあるので、そちらに通うということは認めている。しかし、そのような理由で弘前市の中学校に通うということは、弘前市では認めていないので苦慮するのが現状である。
- ・子どもたちが小学校でがんばってきたものを続けられないのは残念なので、校長会で話題にするが、市では学校に強制的に指導はできない。各校長の判断になるだろう。

○ごみの集積箱について

(市民からの要望・質問)

以前、各町会の壊れたごみ集積箱について市で支給してくれた。ネット、看板は今も支給されているが、年数が経ちだいぶ傷んできたので集積箱を支給してほしい。

元々は町会で設置したが、その後、市で要望を取り、壊れた分に関しては支給してくれた。それから10年以上たっているので、だいぶ傷んできている。

(市の回答)

- ・経緯がわからないので調べたい。
- ・ごみの集積所は各町会1つではないので、経費がかかる。できればコミュニティ育成奨励金を使ってほしい。コミュニティ育成奨励金は、少しでも皆さんに活用していただけるよう変える予定である。今までは住基ネット上の世帯数で計算していたが、それでは世帯分離等の数も含まれる。今後は、実際に町会に加入している戸数で計算したい。全体で100万円が増えただけなのでそれほど多くはないが、地域づくりを応援したい。
- ・集積箱は合併前に全町会から希望を取って新しくしたと聞いている。その後、町会から希望は取っていない。傷んだものを自前で更新している町会もでてきたので、各町会にお願いしたい。各町会から要望がきているのは事実である。

○町会加入促進事業について

(市民からの要望・質問)

町会加入促進事業は来年度も行うのか。今後も宅地造成されていくので、来年度も町会へ新規加入された方に対して生活支援グッズを支給できるのか。

(市の回答)

- ・町会加入促進事業は継続したい。転入した方で町会に入らない人が増えてきた。地域で暮らす人々が助け合うことが必要である。町会に加入してもらおうよう市としてもお願いしているので、続けていきたい。

○平川ねぶたまつり冬の陣について

(市民からの要望・質問)

今年度で当初の計画は終了するが、来年も平川ねぶたまつり冬の陣はやるのか。

(市の回答)

- ・当初から5年で計画を終了することとしていた。
- ・平成27年後半から合併10周年事業を展開したいと思っている。合併10周年を記念して、平成27年12月31日に大晦日ねぶたを1年だけ行い、全国発信したいと思っている。大晦日ねぶたは前にも5年続けたことがある。参加団体の皆さんには苦労をおかけするが、大晦日はテレビ等の取材が来る可能性が強いので期待したい。
- ・合併10周年事業は、平成28年度いっぱい計画を組んでいる。市民歌の制定、テレビや大相撲の巡業、演劇等計画している。振り込め詐欺防止の啓発事業として林家木久扇師匠の講演等を平成28年1月に計画している。